修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。

従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。

（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

へき地の拡大は見送り

中学生　一万七百円に

修学旅行の補助金要求

49年度

全修協が発足いらい主唱している義務教育の公費負担のうち修学旅行関係については本年度からへき地（三級—五級）の小中学生全員にたいして文部省では補助金を出すことになったが、来年度の概算要求では期待されたへき地の枠拡大が見送られ、一人当たりの金額アップにとどまった。

文部省の来年度概算要求は本年度の約二〇・二％増の一兆八千四十五億余円と大幅にふくれあがったが、これは中教審答申に基づく教育改革三年目に当たるため各部局の要求が目白押しとなり、修学旅行費関係は押しきられた格好になった。

高度へき地学校児童生徒修学旅行費は本年度と同じく三級から五級までで、一—二級は除外された。小学生三千六百八十円、中学生一万七百円で、本年度にくらべ小学生は五百八十円、中学生一千八百円それぞれ増額した。

「しかし国民の生活にゆとりが統いているため対象の人員は減少、小学生一万三千五百四十二人が一万一千六十八人に、中学生一万四千八百五十九人は一万二千六百八十三人に減った。金額は小中学生あわせて一億一千七百六十二万五千円で、本年の一億一千六百十五万円にたいしてわずかに百四十七万五千円の増。

また、従来の要保護・準要保児童生徒への修学旅行費補助金は小学生三千六百円、中学生一万二百円。本年度は、へき地と同額だったのが、要保護のほうは小学生八十円、中学生五百円と若干下回わっている。

対象は小学生十万四千四百八十人、中学生九万九千五百八人で、計七億四百六十五万二千円。本年度より七千九百六十二万二千円の増額となっている。

また、校外活動費としては、本年度の小中学生とも百二十円を小学生二百三十円、中学生三百九十円にアップした。対象の準要保児童生徒は、小学生四十七万九千百九十三人、中学生二十一万八千二百七十七人で、計九千七百六十七万二千円。本年度にくらべて四千六百五十六万六千円の増額である。

専用列車の増設を

乗りつぎも円滑に

関修委が国鉄に要請

関東地区中学校修学旅行委員会では来年度関西方面修学旅行の新幹線利用計画の一部変更について八月二十二日午後一時、佐藤武男会長（茨城県中学校長会長・水戸市立第二中学校長）高田福松運営委員長（埼玉県修旅委員長・幸手中学校長）介川容介運営副委員長（茨城県修旅委員長・見川中学校長）伊藤守（栃木県修学旅行委員長・雀宮中学校長）白滝末紀（全修協事務局長）の各運営委員、岩崎武夫（全修協研究部長）事務主幹が国鉄首都圏本部東京販売センター補佐北上啓二郎、同大口係長大塚一美、同担当諏訪文夫氏らと会い、陳情をおこなった。

佐藤会長は「さいきん、父兄や学校、教育委員会から修学旅行の実施について強い要望が起っている。午前八時十五分東京発の列車にのるため、とくに茨城、栃木の一部学校では夜中の二時三時に自宅を出ている。教育的な立場からぜひ午前十時台の列車に変更してほしい」と要請した。さらに茨城県の介川容介、栃木県の伊藤守両氏も、つなぎ列車の悪条件を訴えるとともに、女子教員の勤務上の問題について説明した。

これに対して国鉄側は「関修委の申し出てはよく理解できるし、われわれとしても最善の努力を重ねている。現在、本社旅客局と協議中であり、しばらく時間をかしてほしい」と答えた。

両者で話し合いの結果、①国鉄は午前十時五分発の新幹線利用は六月中・下旬を目途に確保してみる。しかし要望通りにすると二十一日間は必要で、これは非常に困難だが、ぎりぎりの枠をはじき出して再び協議する②関修委の機関を通さぬ国鉄への申請は一切受け付けない、などを決めて午後二時三十分、会見を終わった。

難点は通勤時運転

関東地区中学校修学旅行委員会（佐藤武夫会長）の本年度第四回（運営第六十五回）運営委員会は九月十日午前十時から東京・新宿の都教育会館で開催。

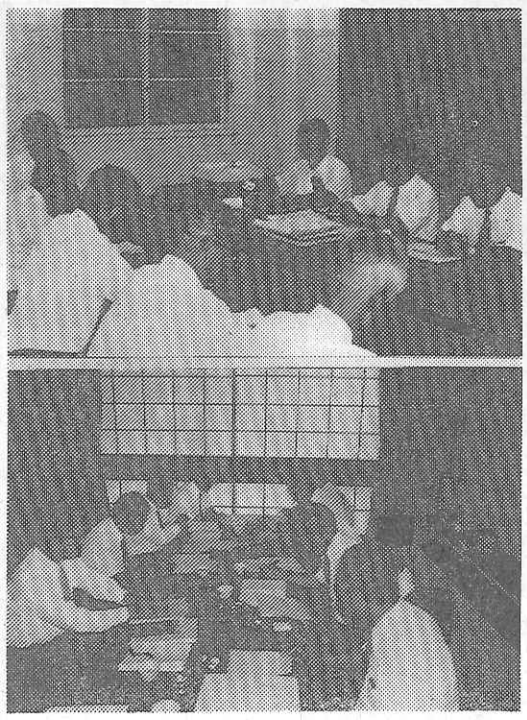
運営委員長高田福松（埼玉）副運営委員長介川容介（茨城）運営委員椎原大三郎（群馬）伊藤守（栃木）新井正敏（埼玉）白滝末紀（全修協）事務局主幹岩崎武夫（同）諸氏のほか国鉄側から首都圏本部東京販売センター大口係長大塚一美、同担当諏訪文夫氏らが出席した。

司会の高田運営委員長が開会の挨拶、白滝運営委員から千葉県修旅委の新人事と、八月二十二日、国鉄首都本部東京販売センターに行った要請について報告があった。（別項参照）

国鉄の大塚係長は、さきに要請した四十九年度修学旅行の輸送について次の通り述べた。

「茨城、栃木両県の春季、午前十時五分東京発の新幹線に二十てい団を希望とのことだが、その場合、午前八時十五分の分が虫くい状態になるのではないか。これでは団体臨時列車と同じになり、本社としても承認しがたくなろう。神奈川県の前後につけるとしてもそのために回送列車が増え、車両配置の点からこれも難しい。また県別にまとめると近距離の学校も午前十時五分に入ってしまうのではないか。これも難点の一つだ。東京販売センターとしては〝四十九年度かぎり〟として本社に話をしたいが、五十年度にも大きな関係があるので苦慮している。たとえ午前十時五分が可能だとしても途中のつなぎ列車は通勤の時間帯とぶつかり、輸送は困難だ。例えば常磐線は非常に線が細く、すでに過密状態だ。また、東北線は大宮到着午前九時という列車があるが、これでは東京発午前十時五分には間に合わぬ。しかし多客期の臨時として上野到着九時二十分の八四〇八列車があり、これだとぎりぎり間に合うが、はたして多客期に利田できるかどうかわからない。私どもとしては、さらにダイヤを綿密に検討するほか、学校別の発車駅を調査したいので、栃木茨城県で至急お調べ願いたい。来年春の輸送会議は十一月に開かれるので、それまでに結論を出したい」と述べた。

運営委としても、さらに詳細にわたって、つなぎ列車をふくめた輸送計画をうち出すことを申し合わせたほか、本年度の研究集会と現地研修会について協議、午後一時閉会した。



㊤国鉄に要請する関修委の役員（首都圏本部で）㊦関修委の第4回運営委員会（都教育会館で）

山形氏が委員長に

千葉県修旅委の役員

千葉県中学校修学旅行委員長に山形禎三郎（市原市立姉崎中学校長）、副委員長に金子善壱（千葉市立第八中学校長）両氏が就任した。事務局は千葉市中央四—十三—一〇千葉県教育会館、県中学校長会事務局内。

日本の旅　世界の旅

電算機がお手伝いする
ひまわり窓口

近畿日本ツーリスト

風紋

越王句践の呉を破る剣
専ら民工に頼って字は錯金とす
銀縷の玉衣いままた是れあり
千秋朽ちず匠人の心（中略）

剣は「自作」と銘するも実は民工に頼るものなり
衣は王の躯に被せられ匠の手に裁定されしものなり
歴史を創造するものは英雄帝王に非ず
すなわち是人民工匠なり

——一九七三年四月十一日

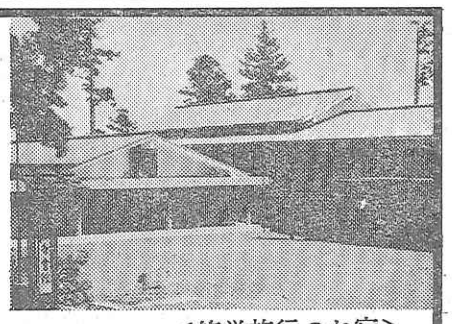
▼これは郭沫若氏が中国出土品展に展示された越王句践の剣と、諸王の葬衣の銀縷によせた詩である▼いま日本中国文化交流協会の主催で京都の国立博物館で中華人民共和国出土文物展が開催されているが、春秋時代から漢、唐を経て元にいたる間の出土品二百三十六点を展示し、絢爛（けんらん）たる中国文化の流れとその大きなスケールが自ずと理解されるとともに、二千年にわたる日本文化への強い影響を意識させられる▼郭沫若氏の詩にうたわれた剣は、春秋時代の越王句践が使っていた宝剣で、最近湖北省で出土した千余年も前のものだが、いまもなお淡青のなめらかな光彩を放っている▼これらの王候の所持品はすべて当時の人民の膏血をしぼりあげ、勤労者の血涙、万知によってつくられたもので、封建貴族の腐敗した生活と人民が創造力をもって、祖国の文化の発展に貢献したことの表現として展示する、というのが、一貫した中国の姿勢である▼この剣の眼を射るような光をとらえた日本の十五歳の中学生が「戦国の数多の人の血を吸いて越王句践の剣光れる」（中国出土展）と詠んだ▼これは八月十三日付朝日歌壇、五島美代子選第一席の作品である。美しい一ふりの剣に生々しい歴史を感じとったこの少年の感受性に感動した▼旅に出て多くの歴史的遺物、遺跡にふれる少年少女の心の世界は、大人にははかれ知れないほど深いものかもしれない。

霊峰比叡でお泊りを

■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ

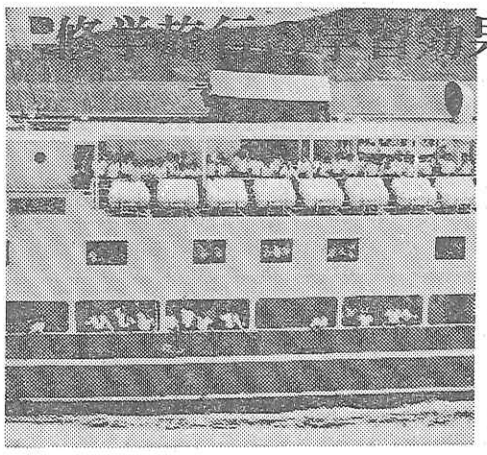
収容　1,000名様

第3別館49年3月オープン
ただいま増築しております



＜修学旅行のお宿＞

比叡山
延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775—78—0047



果向上のために

全船冷暖房完備の修学旅行専用船

わかば丸・ふたば丸

旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！

関西汽船

●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

研修旅行に参加して

アイヌの実態を知る

北海道一周コース……鈴木　広

北洋漁業の基地函館に第一歩を踏みしめ、湯ノ川温泉に直行した。その晩、世界三大夜景の一つである函館市街を眺望するため三々五々連れ立って行く。二泊目、洞爺湖にて近畿、岡山と東北の懇親会を開き、意気大いに上る。

昭和新山を経てアイヌで有名な白老につく。白老小学校にてK先生からアイヌ問題の講演を聞く。北海道には数回旅しているが、観光面からのアイヌしか認識はなかった。

アイヌは一般社会から差別されていることを初めて知り驚いた。とくに就職、結婚などでは、それが顕著だという。子供たちは「毛深いといって笑われ」「修学旅行へ行ったらアイヌの子、出てこいといわれてくやしかった」と訴えている。そして修学旅行でみた寺や建物は、すべて日本人の文化であり、自分達のものはこれっぽっちもない」と憂え悲しんでいる。

K先生は「アイヌ問題を考えるとき、自分は何か、自分達の人種形成は何かを考えてほしい」といっている。熱のこもった講演は好評だった。

釧路からマリモで有名な阿寒湖へ。ついで摩周湖、硫黄山、美幌峠をへて網走につく。

ここに至るとさすがに北の果ての感がひとしおである。オホーツク海が眼前に広がる原生花園では濃霧におおわれた中に今を盛りとハマナスの花が咲き乱れていることに自然が大切に残されていることに歓喜を覚える。

層雲峡の天を圧する切り立った変幻奇怪な岩は、しばしば旅人の足をとめる。この渓谷美は世界でもまれだという。バスを降り小雨にけむる渓谷を散策。大自然の中に溶けこみ、人間の邪念を排すひと時である。

百万都市札幌を最後に数々の思い出を胸に秘め帰路につく。一週間の疲れで北と南の先生方の心の交渉がはかられ、互に別れを惜しむ。北の美酒を酌みかわしているうちに船は夜の海峡を渡り、青森港の灯が見えはじめるころ、汽笛が楽しかった旅に終りを告げる。

研修旅行アルバム

北海道一周コース「白老アイヌの踊り」青森県教育厚生会福祉課長・鈴木広氏うつす

北海道秘境コース「ウトロの船着場」全修協金谷経理部長うつす

みちのく

本多芙佐子

木洩日の大樹ばかりよ湖涼し（十和田湖）
青もみじ滝次々と見え隠れ（奥入瀬）
かなかなや松島湾を一望に
光堂碑の片えにも奥の百合（中尊寺）
外人と話す管主の紫衣涼し（同）
鳴らし合い風鈴を買う旅の宿

（研修旅行東北一周コース参加者・兵庫県赤穂市大津）

四国紀行

伊藤亀雄

全修協と添乗の近畿日本ツーリストの社員の献身的な配慮に感謝し一つつ。（財団法人・青森県教育厚生会・福祉課長）

【第一日】七月二十八日（土曜・快晴・暑さ甚だし）

一九・一五　指定の集合地大阪港弁天埠頭に到着、るり丸に乗船して高松に向う。畳敷きの狭き船室にザコ寝すれど、足も伸ばせず寝返りすらままならぬ苦しさは筆舌のよく尽す処に非ず。加うるに別の二団体ありて、終夜、飲酒喧騒するため一睡もなし得ず、まさに地獄の如き第一夜なり。

夜もすがら二等船室寝もやらず

【第二日】七月二十九日（日曜・曇一時雨・暑さ甚だし）

〇四・〇〇　高松上陸、ニュー宝荘にて朝食後その場にてまたもゴロ寝の休息。

夏の夜の明けもやらぬに朝餉かな

〇七・三〇　バス二台に分乗して出発、屋島に向う。一班は静岡愛知など三十六名、二班は北陸、東北の三十四名にて、〇八・〇〇屋島山に至る。

塩田も今は跡なし古戦場
この辺り例年雨量乏しき所なれど今年は特に大旱ばつなりと。
術もなき水洗便所や大旱

〇九・三五　栗林公園に着く。さすがに名園、湧水絶えず。

栗林の吹上げの水手に涼し

一一・三〇　琴平着。昼食後、各自杖、草履などを借りて金比羅宮に詣ず。

石段の一つ一つに汗の玉
七八五金比羅宮の石段の数
森暗くひぐらしの声降る如し

一七・三〇　道後温泉に着く。かの市営浴場は今も昔のまま建てり。

過ぎし日の姿を今も道後の湯

（つづく）＝四国一周コース参加・静岡市有東一―一―三四＝

四国路

伊藤孝太郎

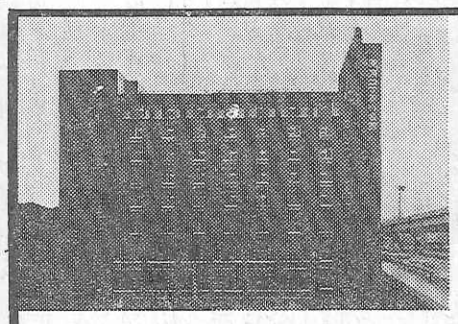
蝉時雨緑の松より聞え来る初めて訪いし栗林公園
七百と五十八段昇り切るああ有難や金比羅本宮
坊っちゃんの通いし湯場のすぐ近く道後温泉今宵我が宿
松山で子規の俳句の額買いて土産の物の数に加える
愛媛なる鹿島の海のグラス舟自然の神秘にじっと眼を張る
ついに来た足摺岬の海原は果てなく広し天と連る
桂浜竜馬の像の前に立ち昔と今と思いてしばし
長々と曲りくねれる竜河洞造化の妙にそっと息つく
宴会に南国土佐の夜はふけぬ長尾鶏見たあと歌やおどりに

（研修旅行四国一周コース参加者・横須賀市佐野町四―二六）

三百万円の助成金

下中記念財団で

財団法人・下中記念財団（下中邦彦理事長）の四十八年度（第十二回）下中科学研究助成金は三十件に対し総額三百万円を予定、申請は本年十一月末日、来年二月二十一日に発表。対象は小中高教諭で研究は個人、共同を問わない。詳細は東京都千代田区四番町四―一、平凡社内・下中記念財団に。



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）

見ているだけで、心が大きく広がる海――
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。

●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講議用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。

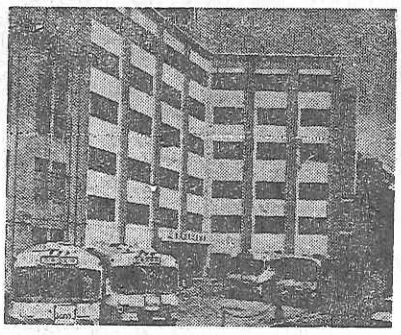
●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911

全国各地
小中高校
全90種
旅のしおり

■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5（京都駅新幹線口の南西）
株式会社 教材研究所
電話・代表075-681-1591,2,3,4
振替・京都2539

修学旅行のご宿泊に……



■東京随一の環境・素晴しい展望
■交通至便・羽田から25分
■玄関前にバス15台の駐車場
■安全第一の諸設備完備
■清潔な調理場と快適な大食堂
■浄化装置の大小浴場

財団法人　修養団経営
東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄谷4―25
電話 (403) 5111 (代表)